遺伝看護専門看護師の現況調査

日本遺伝看護学会 渉外委員会 2023 年 5 月

目次

訓	査の概要	. 2
	目的	. 2
	対象	. 2
	調査方法	. 2
	調査項目	. 2
糸	5果	. 3
	回答者数	. 3
	所属について(複数回答)	. 3
	所属部署について(複数回答)	. 3
	所属施設の状況(複数回答)	. 4
	遺伝専門部署の構成(複数回答)	. 4
	出生前検査に関する実践内容(複数回答)	. 4
	遺伝医療・看護に関する実践内容(複数回答)	. 5
	遺伝医療・看護に関する実践内容(自由記述)	. 5
	遺伝医療・看護に関する教育的役割(複数回答)	. 6
	これまでに行った遺伝医療・看護に関する研究等(複数回答)	. 6
	がん患者の指導・相談の実施有無	. 6
	がん患者指導管理料の算定状況	. 7

日本遺伝看護学会 渉外委員会

青木美紀子 柊中智恵子 佐々木規子 武田祐子 野間口千香穂

調査の概要

目的

遺伝看護専門看護師の状況を明らかにし、看護および遺伝医療関連機関・団体に遺伝 看護専門看護師の役割を示し、遺伝医療の専門職としての位置づけを検討する際の基礎 資料として活用する。

対象

遺伝看護専門看護師 21 名(2023年4月1日現在の認定数)

調査方法

調査期間 令和 5 年 4 月 10 日~4 月 29 日 調査方法 無記名自記式アンケート (Google Forms)

調査項目

- · 所属、所属部署、所属施設の状況
- ・ 遺伝専門部署の構成
- ・ 出生前検査に関する実践内容
- ・ 遺伝医療・看護に関する実践内容
- ・ 遺伝医療・看護に関する教育的役割
- ・ これまでに行った遺伝医療・看護に関する研究等
- ・ がん患者の指導・相談実施、がん患者指導管理料の算定状況

結果

回答者数

20 名 (回収率 95.2%)

所属について (複数回答)

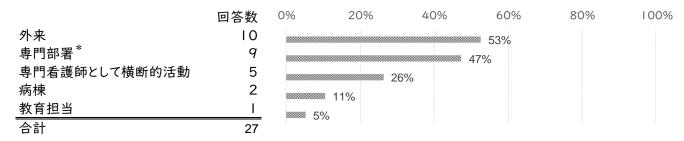
n=20*

Ţ	回答数	0%	10%	20%	30%	40%	50%
総合病院	7	000000000000000000000000000000000000000		***************************************		35%	
大学病院	7	100000000000000000000000000000000000000	**************		***************************************	35%	1
専門病院	4	200000000000000000000000000000000000000	***********	20%			
教育·研究機関(大学、研究所等)	3	200000000000000000000000000000000000000	*************	15%		 	
クリニック	<u> </u>	5%	1	 	 	 	1
合計	22						

*20名中2名は、大学病院とクリニック、または教育・研究機関と兼任。

所属部署について (複数回答)

n=19(病院等に勤務していないため所属部署がない | 名を除外して集計)



*専門部署:遺伝医療に関する専門部署のほか、がんゲノム医療センター、がん相談支援センター、 退院支援室等

所属施設の状況 (複数回答)

n=18(病院に勤務していない、無しと回答した2名を除外して集計)

	回答数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
遺伝学的検査実施	17						94%
遺伝専門部署設置	15					83%	
がんゲノムプロファイリング検査実施	14					78%	
NIPT実施	11				61%		
IRUD実施	7			39%			
合計	64						

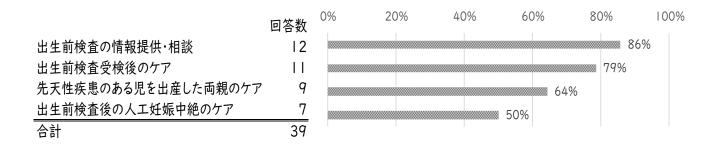
遺伝専門部署の構成(複数回答)

n=15(遺伝専門部署が設置されていると回答した 15名の回答を集計)

	回答数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
臨床遺伝専門医	15						
遺伝看護専門看護師	12					80%	100%
認定遺伝カウンセラー [®]	10				67	7%	
看護師	2		13%				
合計	39						

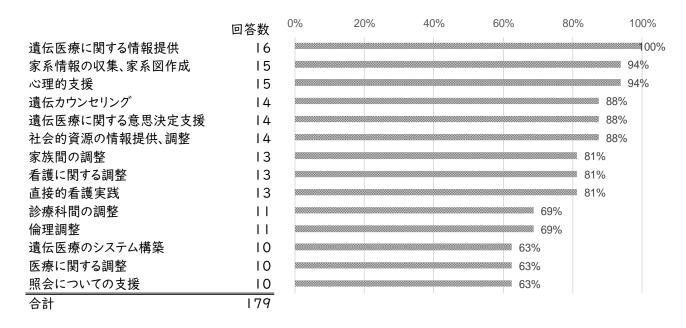
出生前検査に関する実践内容 (複数回答)

n=14(病院に勤務していない、該当なしと回答した6名を除外して集計)



遺伝医療・看護に関する実践内容(複数回答)

n=16(病院に勤務していない、実践環境にいない等と回答した 4 名を除いて集計)

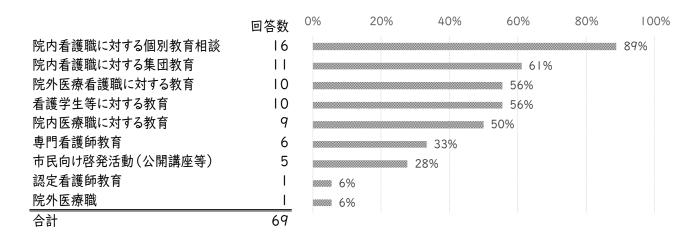


遺伝医療・看護に関する実践内容(自由記述)

- ・遺伝性腫瘍に関し、がん看護相談担当者と連携した継続支援
- ・がんゲノムプロファイリング検査に関する説明、家族歴聴取、意思決定支援。また検査 に関わる院内スタッフへの教育
- ・がん遺伝子パネル検査結果開示後の疑問への対応、不安軽減を目的とした看護介入
- ・遺伝性疾患に関する各診療科からの相談、診療科間の調整、患者・家族の継続支援
- ・「遺伝」という言葉に抵抗感を覚える患者に対し、外来等で継続的に支援を展開し、 適時性を考慮して遺伝カウンセリングを調整
- ・各診療科への組織横断的な活動
- ・ジェネラリストナースが役割を担えるように教育活動を実施
- ・遺伝カウンセリング後の対象者の理解の整理や意思決定支援、外来や病棟での個別 面談。
- ・周産期の看護実践を通して、先天異常に関する不安を抱える妊婦への看護を展開 (例 乳房ケアを展開しながら傾聴)
- ・X 連鎖潜性遺伝(劣性遺伝)の児やきょうだい、母親に対し、身体的側面について看護の 視点からアセスメントするとともに、心理社会的側面、遺伝学的側面を認定遺伝カウン セラー®や小児科医と協働してケアを展開
- ・選択的人工妊娠中絶における看護実践
- ・遺伝性腫瘍と診断された患者への周手術期看護、ストーマケア
- ・遺伝性疾患に対するコンサルテーション(コンサルティは院内看護師)

遺伝医療・看護に関する教育的役割(複数回答)

n=18(教育活動は行っていないと回答した2名を除いて集計)



これまでに行った遺伝医療・看護に関する研究等(複数回答)

n=19(無しと回答した | 名を除いて集計)

	回答数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
学会発表	17						89%
論文投稿	8			42%			
雑誌·書籍執筆	7			××××× 37%			
学会シンポジスト等	7			37 %			
院内研究	6			× 32%			
その他	4		21%				
合計	49						

その他:遺伝看護専門看護師教育課程で学ぶ大学院生や遺伝看護を学ぶ学部生の研究指導、論文投稿に 関する相談、医師との共同研究、遺伝看護領域以外の学生の研究協力

がん患者の指導・相談の実施有無

n=20

	回答数	比率
あり	13	65%
なし	7	35%
合計	20	_

がん患者指導管理料の算定状況

n=20

	回答数	比率
算定されていない	9	45%
該当しない	7	35%
算定されている	3	15%
不明	1	5%
<u></u> 合計	20	